

夏季キャベツ育苗に128穴セルトレイを活用するメリット

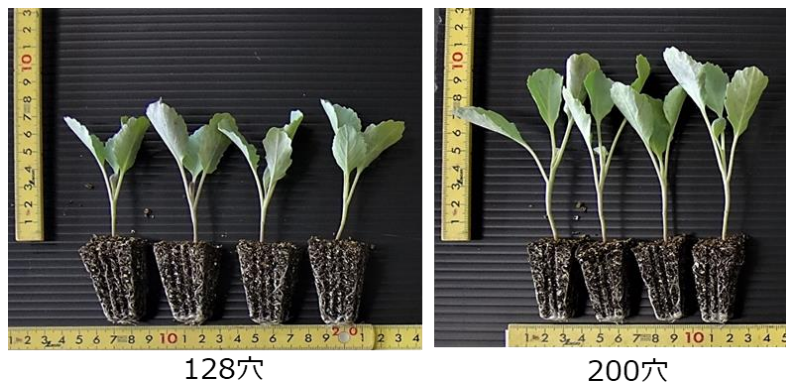


図1 128穴及び200穴セルトレイで育苗したキャベツ苗²
²育苗期間は128穴は25日、200穴は28日



図2 定植1か月後の様子

開発のねらい

夏のキャベツ育苗では、高温や長雨の影響で苗が徒長しやすく、均一な苗を育てるのが難しいという課題があります。この問題を解決するため、「200穴セルトレイ」よりもセル当たりの培土量が多い「128穴セルトレイ」を使用して、コンパクトで乾燥に強い苗を育成し、定植後の均一な生育や収量アップを目指しました。

新技術の概要

- 128穴セルトレイを使うことで、従来の200穴セルトレイよりも苗の成長が均一になり、草丈がコンパクトになります（図1）。
- 200穴セルトレイよりも定植後の生育のばらつきが少なく、収量が増えるとともに、球のサイズが揃うため一斉収穫がしやすくなります（図2）。

活用場面

128穴セルトレイは200穴セルトレイよりも、夏季のキャベツ育苗時の良苗生産だけでなく、高温・乾燥時に定植する際の活着改善につながります。また、収量が安定化し、一斉収穫がしやすくなるメリットもあります。